



「2027いしかわ総文」の開催500日前の時期に合わせて、3月28日に金沢駅もてなしドームと地下広場で「2027いしかわ総文開催500日前PRイベント」を実施しました。イベントは生徒実行委員会を中心とした高校生が企画・運営を担い、地上ステージでは吹奏楽や書道パフォーマンス、手話パフォーマンスの実演などを行い、地下広場では美術・工芸や写真部門の作品展示などを行いました。また、

大会マスコットキャラクター「つづみ丸」が登場し、会場の賑わいに華を添えました。

当日は天気にも恵まれ、地元の方や国内外の観光客の皆さんに「2027いしかわ総文」や、高校文化部の活動を紹介することができました。今後も多くの方に「2027いしかわ総文」を知ってもらえるよう、引き続きPRしていきます。



日本航空高校石川による書道パフォーマンス



生徒実行委員会による会場設営



公式ウェブサイト



Instagram



X(旧Twitter)



Youtube



大会マスコットキャラクター
つづみ丸

2026(令和8)年度

役員職参事からの
自己紹介

今年度もよろしくお願ひいたします！

公益財団法人日本教育公務員弘済会石川支部の支部長は、昨年度1月より堀義明の後任として、専任幹事の茶谷昭が兼務していました。そして、この4月より専任幹事として、橋本祐之が着任しています。また、学校を訪問する弘済会石川支部の参事ですが、昨年度12月より奥能登地区担当として、滝井陽一が加わり7人体制となりました。全員が学校長や事務長経験者であり、石川の教育に情熱を注いでこられた方々ばかりです。教職員のための教弘保険を担当するジブラルタ生命保険会社LC(ライフプラン・コンサルタント)とともに、学校訪問をする際には、引き続き温かくお迎ひいただければ幸いです。



『This is my life.』

公益財団法人 日本教育公務員弘済会
石川支部 支部長 茶谷 昭

こんにちは。昨年度4月、日本教育公務員弘済会石川支部専任幹事として勤務し、1月から支部長に就任することになりました。微力ではありますが、『最終受益者は子どもたちである』を大前提とし、「子どもたちと先生の学びをおつづい」する教育振興事業及び、「暮らしに喜びと安心をおつづい」する福祉事業の推進に努めてまいります。

さて、NHK連続テレビ小説『風、薫る』がスタートしました。明治のナイチンゲールと言われた女性をモデルとした物語です。主人公であるふたりの女性が看護という仕事を通して人とのかわり方や温かさを学び、自分の役割や生き方を見つけていくようで、今後の展開がとても楽しみです。

物語の中に英語でのセリフがよく出てきます。私は学生時代も今も、英語はあまり得意ではありませんが、「This is my life.」と胸をはって言えるよう、子どもたちや先生方をお支えし、学校に安心と信頼を届けられるような仕事をしたいと考えております。よろしくお願ひいたします。



『仕事は楽しいかね？』

株式会社 石川教弘
代表取締役 柴田 勝俊

この題名の本が巷で売れているということを最近知りました。シリーズ2作で累計37万部のベストセラーだそうです。本の帯には、かの有名なノーベル医学賞を受賞した山中伸弥さんの言葉がありました。…『まずは試してみて、結果を楽しむことをこの本から学びました。』…どうやら転職をお薦めする本ではなさそうなので、さっそく購入して読んでみました。

この本が教えてくれたこと、それは『高い目標を立て、完璧を目指して取り組むよりも、日々の小さな「試すこと」こそが現状を打破する鍵である』ということでした。また、本には『試してみることには失敗はない』『明日は今日と違う自分になる』『違うものがよいとは限らない。だが、よりよいものは必ず違っている』

など、珠玉の言葉が並んでいました。これらの言葉は、仕事の停滞感(前例踏襲、事なかれ主義、完璧主義)を打破し、明日からまた新しい一歩を踏み出す勇気を与えてくれるものだと感じました。

さて、弘済会の仕事に就いてあっという間に一年が経ちました。キャンペーンやプロジェクトの企画を考えたり、能登の業者さんと直接お会いしたり、行政の方々や校長先生をはじめとする多くの教職員の皆さんと情報交換をさせていただいたり…。これまで経験してこなかったさまざまなことにトライし「やってみる」の連続はとても新鮮で、充実した毎日を送ることができています。そして、学校や教職員の皆さんを支えるこの仕事にとってもやりがいを感じています。

もし誰かに、「仕事は楽しいですか？」と訊かれたら、自分はきっこう答えることでしょう。

「弘済会の仕事は…楽しくて面白いんです!!」(Mリーグ・チーム雷電風!)と。今年度もよろしくお願ひいたします。



夢の実現に向けて、 全力でサポートします！

公益財団法人 日本教育公務員弘済会
石川支部 専任幹事 橋本 祐之

はじめまして、橋本祐之(はしもとひろゆき)と申します。この4月より、弘済会石川支部専任幹事を務めることになりました。教育振興事業(奨学事業・教育研究助成事業・教育文化事業)を中心に担当しながら、「最終受益者は子どもたち」という信念のもとに各学校との連携を深めていきたいと思ひます。皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

さて、自己紹介をさせていただきます。私は令和5年3月に、いしかわ特別支援学校校長を最後に定年退職した後、石川県文教会館の館長として3年間勤務いたしました。また、県高等学校退職校長会(松柏会)の事務局長として、県内の教育・文化の発展に貢献できるよう努めてきました。若い頃は陸上競技の三段跳に取り組み、今はその経験を活かし、パラ陸上やインクルーシブ陸上でコーチを担当し、共生社会の実現に向けた取組も行っています。弘済会の活動とともに、ぜひ広めていければと思ひています。

これからも子どもたちや先生方の夢の実現に向けて、全力でサポートして参りますので、弘済会をよろしくお願ひいたします。



内田 恒平 参事(中能登地区 担当)
 〈元宝達志水町立志雄小学校長〉

中能登担当参事 内田恒平です。早いもので参事を引き受けさせていただいて7年たちました。退職後は学校とは疎遠になるものですが、この仕事のおかげで学校を訪問するたびに現職の時が懐かしく思い起こされます。特に、子ども達の元気の良い挨拶には気持ちが最高に晴れ晴れします。そんな子ども達のために弘済会の一人として学校にとってプラスとなるよう務めていきたいと思っています。今年度もよろしくお願ひします。



滝井 陽一 (新)参事(奥能登地区 担当)
 〈元輪島市立鳳至小学校長〉

奥能登地区担当参事の滝井です。昨年の12月から担当としてお世話になってます。弘済会の事業を通して、校長先生をはじめ奥能登の先生方のお力となれるよう頑張っていきたいと思っています。学校訪問の際はどうぞよろしくお願ひします。



細川 章 参事(金沢地区 担当)
 〈元金沢市立大徳小学校長〉

金沢地区担当の細川です。退職して丸9年が経ち、学校を訪問しても存じ上げる先生が少なくなりつつありますが、昔ご一緒した先生方にお会いすると懐かしさとともに、一緒に苦労したこと等が思い出されます。今年も弘済会の事業を通して学校や先生方そして子ども達のお役に立てればと願っています。よろしくお願ひいたします。



茶谷 昭 支部長(内灘町 担当)

〈元内灘町立清湖小学校長・前内灘町教育センター所長〉



柴田 勝俊 代表取締役(津幡町 担当)

〈元かほく市立宇ノ気小学校長・元石川県小中学校長会長〉



大浦 正 参事(金沢地区 担当)
 〈元金沢市立高岡中学校長〉

金沢地区担当参事、大浦 正です。中学校で勤務していた時は理科を担当し環境教育に興味を持っていました。部活動はバドミントン部を担当し、県体出場を目指すチームをお世話させていただきました。退職して長い年月が経ちましたが、弘済会の事業を通して学校や先生方のお力になればと考えています。よろしくお願ひいたします。



塩栗 与嗣男 参事(白山地区 担当)
 〈元石川県公立小中学校教育事務研究会長〉

白山地区担当の塩栗与嗣男です。教育弘済会事業の紹介のため、ジブラルタ生命のLCの方と学校をお伺いいたします。よく知った顔、長い間会えなかった方、初めてお目にかかる方、それぞれ楽しみしています。その中で各学校、教職員のみなさん、児童・生徒のみなさんそれぞれの活動に対して何を協力できるか、話し合っていきたいと考えています。今年もよろしくお願ひします。



中出 敏彦 参事(加賀・小松地区 担当)
 〈元加賀市立錦城小学校長〉

加賀・小松担当の中出敏彦です。平成30年3月に、加賀市立錦城小学校長を定年退職し、同年4月より参事の仕事させていただいております。参事9年目です。初任研の指導教員のように、直接教育に携わる仕事より、学校や先生方を側面から支援する弘済会の仕事に意義を見出しております。今後ともよろしくお願ひいたします。



橋本 祐之 (新)専任幹事(特別支援学校 担当)

〈元石川県立いしかわ特別支援学校長・前石川県文教会館長〉



内村 博和 参事(高等学校 担当)
 〈元金沢市立工業高等学校長〉

こんにちは！高校担当の内村と申します。私はずっと工業高校で工業の科目を担当しました。生徒には技術はもちろん、挨拶や礼儀等の大切さを教えてきました。宴席では先輩方から授業、生活指導、部活動の大切さを学びました。学校訪問の際には弘済会の事業説明だけでなく、仕事のすばらしさを共感したいです。そして先生方や生徒のより良い環境作りにお手伝いできたら最高です。



弘済会石川支部・石川教弘の事務局役員と職員の6名です。先生方とご家族の幸せを願ひ、教育振興の充実と福祉向上に努めてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

全国奨励賞《個人部門》2編受賞

公益財団法人日本教育公務員弘済会が主催する第31回(令和7年度)「日教弘教育賞」選考委員会が開催され、石川支部から推薦した教育実践論文(個人部門)2編が「全国奨励賞」を受賞されました。おめでとうございます。

お二人には、それぞれ表彰状と賞金5万円(支部奨励賞3万円受賞済)を各中学校にて授与させていただきました。今後、ますますのご活躍を期待しております。



謎解きイベントを通した知的好奇心と探求心の育成

～「問いを創る授業」の実現に向けたゲーミフィケーションの実践～

金沢市立野田中学校 教諭 前田 一樹



「光の現象」における『学び合い』による単元内自由進度学習の実践

～生徒主体の学びを実現～

金沢市立高岡中学校 教諭 浅見 拓真

なお、この2編及び支部奨励賞3編の論文は、当支部HPにある「申請書その他のダウンロード」内に掲載しております。また、本年2026(令和8)年度日教弘石川支部教育実践研究論文募集要項も掲載しておりますので、たくさんのご応募をお待ちしております。

●教弘保険加入者の皆様へ●

より便利に・スピーディーに

宿泊前の申請が
不要

紙の利用券が
不要

郵送の待ち時間
なし

宿泊補助の申請方法が
2027(令和9)年4月1日より

宿泊利用券(宿泊当日の割引)

から

銀行振込(宿泊後の送金)

に変わります。

宿泊補助の変更点については
こちらへ!!



STEP
1

ご宿泊時に
領収書または宿泊証明書を受領 ※



STEP
2

いつでもどこでも
スマホ・PCから1回で電子申請が完了 ※



STEP
3

ご宿泊後に銀行口座へ補助金額をお振込



※詳細につきましては、令和8年度後半に広報誌やホームページ等でお知らせする予定です。

